		等専門学校	開講年度 令和05年度 (2		授業科目	数学特別講義	
科目基	礎情報			-			
科目番号		0086		科目区分	一般/選排	5	
授業形態				単位の種別と単位数	学修単位:	学修単位: 2	
		創造工学科	(一般科目)	対象学年	4		
開設期		後期		週時間数	2		
			「編入数学徹底研究」(聖文新社)/自作プリント				
担当教員		藤島 勝弘					
到達目	標						
2.2変3.行列 4.確率	数の微分, , 行列式及 及びその応	積分及びその点	5用問題を解くことができる。 5用問題を解くことができる。 夏を解くことができる。 ことができる。				
ルーブ	リック		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル		未到達レベルの目安	
評価項目1			1変数の微分,積分及びその応用 問題を8割以上解くことができる 。	1変数の微分,積分及びその応用 問題を6割以上解くことができる 。		1変数の微分,積分及びその応用問題を6割以上解くことができない。	
評価項目 2			2変数の微分,積分及びその応用 問題を8割以上解くことができる 。	2変数の微分,積分 問題を6割以上解く	及びその応用 ことができる	2変数の微分,積分及びその応用問題を6割以上解くことができない。	
評価項目3			ベクトル,行列,行列式及びその 応用問題を8割以上解くことがで きる。	ベクトル,行列,行列式及びその 応用問題を6割以上解くことがで きる。		ベクトル,行列,行列式及びその 応用問題を6割以上解くことがで きない。	
評価項目 4			確率及びその応用問題を8割以上 解くことができる。	確率及びその応用問 上解くことができる		確率及びその応用問題を6割以上解くことができない。	
学科の	到達目標	項目との関係	Ŕ				
Ⅱ 実践		人間性 実践性 国際性					
		微分積分学	・ (1 亦粉の) と は と に		- 		
概要)、確率に 	でついて,1年~3年で学んだ内容を 	積分、微分方程式、複 復習するとともに,そ 	!素関数)、線 :れぞれの分野(ド代数学(ベクトル、行列、行列式 こついて発展的な内容を学習します 	
	め方・方法)、確率に 。 授業は講義 基礎的事項 事前・事後	一ついて, 1年~3年で学んだ内容を 形式で行い、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試 学習として課題を課します。課題及	復習するとともに,そ 験に出題された問題の び定期試験の準備のだ	れぞれの分野(こついて発展的な内容を学習しますの自学自習時間が必要です。	
授業の進	め方・方法)、確率に ・ 授業は講事 ・ 接続的・事の ・ のはのは、 ・ ・ 交業が ・ ・ である。	こついて,1年~3年で学んだ内容を 	復習するとともに, そ 験に出題された問題の び定期試験の準備のだ み、授業内容を復習し 総合して評価します。	:れぞれの分野()解説をします。 :め、60時間の :た上で授業に関	こついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 塩んで下さい。	
授業の進 注意点)、確率に ・ 授業は講事 ・ 接続的・事の ・ のはのは、 ・ ・ 交業が ・ ・ である。	でいて、1年~3年で学んだ内容を 形式で行い、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試 学習として課題を課します。課題及 習が必要で・事前に課題に取り組 定期試験60%、課題など40%を で成績が60点未満のものに対して再	復習するとともに, そ 験に出題された問題の び定期試験の準備のだ み、授業内容を復習し 総合して評価します。	:れぞれの分野()解説をします。 :め、60時間の :た上で授業に関	こついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 塩んで下さい。	
授業の進 注意点 授業の)、確率に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でいて、1年~3年で学んだ内容を 形式で行い、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試 学習として課題を課します。課題及 習が必要で・事前に課題に取り組 定期試験60%、課題など40%を で成績が60点未満のものに対して再	復習するとともに, そ 験に出題された問題の び定期試験の準備のだ み、授業内容を復習し 総合して評価します。	:れぞれの分野()解説をします。 :め、60時間の :た上で授業に関	こついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 塩んで下さい。	
受業の進 注意点 受業の 」アク:	属性・履)、確率に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でいて、1年~3年で学んだ内容を形式で行い、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試学習として課題を課します。課題及習が必要です。事前に課題に取り組定期試験60%、課題など40%を認の成績が60点未満のものに対して再合で再評価を行います。	復習するとともに、そ 験に出題された問題の び定期試験の準備のた み、授業内容を復習し 総合して評価します。 試験を実施する場合か	:れぞれの分野()解説をします。 :め、60時間の :た上で授業に関	こついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 臨んで下さい。 合、再試験50%,特別レポート	
受業の進 注意点 受業の 」アク:	属性・履)、確率に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でいて、1年~3年で学んだ内容を形式で行い、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試学習として課題を課します。課題及習が必要です。事前に課題に取り組定期試験60%、課題など40%を認の成績が60点未満のものに対して再合で再評価を行います。	復習するとともに、そのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	:れぞれの分野()解説をします。 :め、60時間の :た上で授業に関	ごついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 為んで下さい。 合、再試験50%,特別レポート □ 実務経験のある教員による授	
受業の進 注意点 受業の 」アク:	属性・履)、確率に 授業は講事 接続 事前・ 毎回績は 表 の 例 の 子・ 成業 成 割 修上の区分 ニング	でいて、1年~3年で学んだ内容を 形式で行い、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試 学習として課題を課します。課題及 学習が必要です。事前に課題に取り組 定期試験60%、課題など40%を で成績が60点未満のものに対して再 合で再評価を行います。	復習するとともに、そのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	がある。この場 ごとの到達目標	ごついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 為んで下さい。 合、再試験50%,特別レポート □ 実務経験のある教員による授	
受業の進 注意点 受業の 」アク:	属性・履	(の)	でついて、1年~3年で学んだ内容を形式で行い、適宜演習を行います。 東を確認した上で、主に大学偏入学試 大学習として課題を課します。課題及 と学習が必要です。事前に課題に取り組 定期試験60%、課題など40%を での成績が60点未満のものに対して再 会で再評価を行います。 ☑ ICT 利用	復習するとともに、そのでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	がある。この場でとの到達目標のののでは、これでれの分野(の)をはます。 からの場 では できませい いっこう かいしゅう はいます いっぱい かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう はいしゅう かいしゅう かいしゅう はいまい しゅう はいしゅう はい	こついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 塩んで下さい。 合、再試験50%,特別レポート □ 実務経験のある教員による授業	
受業の進 主意点 受 業 の	属性・履	 、確率に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	でいて、1年~3年で学んだ内容を形式で行い、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試 学習として課題を課します。課題及 習が必要です。事前に課題に取り組 定期試験60%、課題など40%を の成績が60点未満のものに対して再 合で再評価を行います。	復習するとともに、そのでは、一般に出題された問題のでで定期試験の準備のない。 授業内容を復習し、 授業内容を復習し、 記試験を実施する場合がは、 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	がある。この場でとの では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ででは、 の自学自習時間が必要です。 なんで下さい。 合、再試験50%,特別レポート □ 実務経験のある教員による授業 解くことができる。	
受業の進 主意点 受 業 の	属性・履 ティブラー: 画	 、確率に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	でいて、1年~3年で学んだ内容を 形式で行い、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試 を確認した上で、主に大学偏入学試 学習として課題を課します。課題及 習が必要で・事前に課題に取り組 定期試験60%、課題など40%を での成績が60点未満のものに対して再 合で再評価を行います。	復習するとともに、そのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	がある。この場でとのでは、 では、60時間では、た上で授業には、60時間では、た上で授業にはである。この場である。この場である。この場では、100元用問題をは、100元円には、100元円	ででは、 の自学自習時間が必要です。 ないで下さい。 合、再試験 5 0 %, 特別レポート □ 実務経験のある教員による授業 解くことができる。 題を解くことができる。	
受業の進 主意点 受 業 の	属性・履	 (本) (本) (本) (本) (を) (を)	一ついて、1年~3年で学んだ内容を 形式で行い、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試 を確認した上で、主に大学偏入学試 学習として課題を課します。課題及 理が必要で・事前に課題に取り組 定期試験60%、課題など40%を での成績が60点未満のものに対して再合で再評価を行います。	復習するとともに、そのでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	がおる。この場でとのでは、 がある。この場でとのでは、 でとの到達目標である。この場では、 でとの到達目標では、 でとの到達目標では、 での応用問題では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ででは、 できる。	
受業の進 注意点 受業の 」アク:	属性・履 ティブラー: 画	 (本) (本) (本) (本) (を) (を)	でいて、1年~3年で学んだ内容を記して、1年~3年で学んだ内容を記した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試学習として課題を課します。課題及認知が多くのが、課題など40%をでの成績が60点未満のものに対して再合で再評価を行います。 ② ICT 利用 ② ICT 利用 ② ICT 利用	復習するとともに, そ	がある。この場では一般では、 がある。この場では、 でとの到達目標がある。この場では、 でとの到達目標がある。この場では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ででは、 できる。	
受業の進 注意点 受業の 」アク:	属性・履 ティブラー: 画	 (本) (本) (本) (本) (を) (を)	でいて、1年~3年で学んだ内容を記して、1年~3年で学んだ内容を記した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試学習として課題を課します。課題及認知が多60%、課題に取り組定期試験60%、課題など40%をごの成績が60点未満のものに対して再合で再評価を行います。 ② ICT 利用 ② ICT 利用	復習するとともに、そのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	が表る。この場ではののでは、 がある。この場では、 でとの到達目標では、 では、 でとの到達目標では、 での応用問題をは、 での応用問題をは、 での応用問題をは、 でのの応用問題をは、 でののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	こついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 高んで下さい。 合、再試験 5 0 %, 特別レポート □ 実務経験のある教員による授 解くことができる。 題を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。	
受業の進主意点 受業の アクラー 受業計	属性・履 ティブラー: 画	 (本) (本) (本) (を) (を)	でいて、1年~3年で学んだ内容を 形式で行い、適宜演習を行います。 東を確認した上で、主に大学偏入学試 大学習として課題を課します。課題及 と習が必要です。事前に課題に取り 定期試験60%、課題など40%を での成績が60点未満のものに対して再 合で再評価を行います。 図 ICT 利用 のは を業内容 な分法 に積分 に積分 に積分 に積分 に積分 に積分 に積分 に積分	復習するとともに、、そのでは、、そのでは、、そのでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	がある。 この場では、 では、 6 0 時間のでは、 6 0 時間のでは、 6 0 時間のでは、 7 で授業には、 7 でのでは、 7	ででは、 できる。 を解くことができる。	
受業の進 主意点 受業の ファクラ	属性・履 ティブラー: 画	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で で	復習するとともに、そのでは、一般に出題された問題のなび定期試験の準備のない。 授業内容しまでは、一般に対して評価する場合が、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、これに対し、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対しに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対しに対して、これに対して、これに対して、これに対しに対して、これに対して、これに対して、これに対して、これに対しに対しに対しには、には、には、には、これに対しには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、には、これには、これ	がでれの分野(の解説をします。との、60時間のた上で授業に関する。この場で上で授業に関する。この場で上の応用問題を対象の応用問題を対象の応用問題を対象の応用問題を対象がある。用問題を対象がある。用問題を対象がある。	こついて発展的な内容を学習します D自学自習時間が必要です。 高んで下さい。 合、再試験 5 0 %, 特別レポート 以表別を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。	
受業の進主意点 受業の アクラー 受業計	属性・履 ティブラー: 画	 (を) は (を) では (を) では	でいて、1年~3年で学んだ内容を記して、1年~3年で学んだ内容を記した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試学習として課題を課します。課題及認め必要によるののでは、10%を10%を10%を10%を10%を10%を10%を10%を10%を10%を	復習するとともに、、そのでは、、そのでは、、そのでは、、そのでは、は、では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	が成れの分野(の解説をします。との、60時間のた用間の応用問題を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	ででできる。 を解くことができる。	
受業の進主意点 受業の アクラー 受業計	属性・履 ティブラー: 画	 (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	でいて、1年~3年で学んだ内容を記して、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試を習として課題を課します。 課題及 認力 の	復習するとともに、、そのでは、、そのでは、、そのでは、、そのでは、は、では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	・れぞれの分野()解説をします。 とめ、60時間の た上で授業に思いる。この場 ごとの到達国題に 計分の応用問題 責分の応用問題題 数分の応用問題題 数分の応用問題題 対分の応用問題題 対分の応用問題を 数分の応用問題 対分の応用問題 対分の応用問題 対分の応用問題 対分の応用問題 対分の応用問題 対力の応用問題 対力の応用問題 対力の応用問題 対力の応用問題	ででは、 できる。 を解くことができる。	
受業の進主意点 受業の ファクラ	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	 (本) (本) (本) (を) (を)	でいて、1年~3年で学んだ内容を記して、1年~3年で学んだ内容を記した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試学習として課題を課します。課題及認定期試験60%、課題など40%を認め成績が60点未満のものに対して再合で再評価を行います。 ② ICT 利用	復習するとともに、そ 験に出題された問題の び定期試験の準備のた みに受けいででは、 総合して表す。 総合して表す。 に試験を実施する場合が では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	が成れの分野(解説を10時間の にとめ、60時間の にとい、60時間の にとい、60時間の にとい、60時間の にとい、60時間の にとい、60時間の でとの到達目題 でとの到達目題問題 を対かの応用問題題 対力の応用問題題 対力の応用問題題 対力の応用問題題 対力の応用問題題 対力の応用問題題 対力の応用問題題 対力の応用問題	でいて発展的な内容を学習しますの自学自習時間が必要です。 高んで下さい。 合、再試験 5 0 %, 特別レポート □ 実務経験のある教員による授業 解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。	
受業の進主意点 受業の アクラ	属性・履 ティブラー: 画	 (本) (本) (本) (本) (を) (を)	でいて、1年~3年で学んだ内容を記して、直直演習を行います。 また で	復習するとともに、、そ 験に出題された問題の が定期試験の準備のた み、授予評価の が定期試験を写施する場合が がはいまである。 図 遠隔授業対応 図 遠隔授業対応 一 定に 一 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のでは、	でれてれの分野(が解説を 0 時間の が 6 0 時間の で との到達目題 自分の応用問題題 を 2 0 の応用問題題 を 3 0 分の応用問題題 を 3 0 分の応用問題を を 3 0 分の応用問題を 6 0 分の応用問題を 6 0 分の応用問題を 6 0 の応用問題を 6 0 の応用のの応用	でいて発展的な内容を学習しますの自学自習時間が必要です。 高んで下さい。 合、再試験 5 0 %, 特別レポート □ 実務経験のある教員による授業 解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。	
受業の進注意点 授業の 授業計	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	 (本) (本) (本) (本) (を) (を)	一ついて、1年~3年で学んだ内容を記して、直直演習を行います。記を確認した上で、主に大学偏入学試を発習として課題を課します。課題及認知必要です。事前に課題に取り給を記念がある。 「と	復習するとともに、 そ	・れぞれの分野(が解説を60時間の がある。この場 でとの可能である。この場 でとの応用の応用問題 責分の応用の応用問題題 を対けるのでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、	ででできる。 を解くことができる。	
授業の進注意点 授業の アクラ	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	() 。 授基事 ・・・ 5 の区 () ・・ 5 のC () ・・ 5 の	一ついて、1年~3年で学んだ内容を記して、直直演習を行います。 京を確認した上で、主に大学偏入学試学習として課題を課します。課題及語で対して課題を10%を認めたる。 事前に課題に取りをでの成績が60点未満のものに対して再合で再評価を行います。 ② ICT 利用 ② ICT NT ICT	復習するとともに、、そ 験に出題された問題の が定期試験の準備のた が定期試験のを表情のた が定期である場合が が定期である場合が は試験を実施する場合が のでである。 のででする。 のでである。 のでである。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のでですな。 のででする。 のででする。 のでですなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで	が成れの分野(が解説を10時間では、60時間では、60時間では、1	こついて発展的な内容を学習します か自学自習時間が必要です。 にはで下さい。 合、再試験 5 0 %,特別レポート は実務経験のある教員による授いできる。 を解くことができる。	
授業の進注意点 授業の □ アクラー 授業計	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ	 (を) (を)<td>でついて、1年~3年で学んだ内容を記して、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、事前に課題に取り組定期試験60%、課題など40%をつかが、1000円のである。</td><td>復習するとともに、、そ 験に出題された問題の が定期試験の準備のた が定期試験のを表情のた が定期である場合が が定期である場合が は試験を実施する場合が のでである。 のででする。 のでである。 のでである。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のでですな。 のででする。 のででする。 のでですなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで</td><td>が成の分野(が解説を10時間の がある。20時間の がた上で授業に関 がある。20時間の がある。20時間の で上の野に関 で上のの利達した。 でとの利達した。 ではようの応用問題題 を対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題 対力の応用問題と 対力の応用問題題 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対対の応用問題を 対対の応用問題を 対対のに 対対の応用問題を 対対のに 対対の 対対の</td><td>でついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 高んで下さい。 合、再試験 5 0 %,特別レポート</td>	でついて、1年~3年で学んだ内容を記して、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、事前に課題に取り組定期試験60%、課題など40%をつかが、1000円のである。	復習するとともに、、そ 験に出題された問題の が定期試験の準備のた が定期試験のを表情のた が定期である場合が が定期である場合が は試験を実施する場合が のでである。 のででする。 のでである。 のでである。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のでですな。 のででする。 のででする。 のでですなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで	が成の分野(が解説を10時間の がある。20時間の がた上で授業に関 がある。20時間の がある。20時間の で上の野に関 で上のの利達した。 でとの利達した。 ではようの応用問題題 を対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題 対力の応用問題と 対力の応用問題題 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対対の応用問題を 対対の応用問題を 対対のに 対対の応用問題を 対対のに 対対の 対対の	でついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 高んで下さい。 合、再試験 5 0 %,特別レポート	
授業の進注意点 授業の 授業計	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	 (を) (を)<td>一ついて、1年~3年で学んだ内容を記して、直直演習を行います。 京を確認した上で、主に大学偏入学試学習として課題を課します。課題及語で対して課題を10%を認めたる。 事前に課題に取りをでの成績が60点未満のものに対して再合で再評価を行います。 ② ICT 利用 ② ICT NT ICT</td><td>復習するとともに、、そ 験に出題された問題の が定期試験の準備のた が定期試験のを表情のた が定期である場合が が定期である場合が は試験を実施する場合が のでである。 のででする。 のでである。 のでである。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のでですな。 のででする。 のででする。 のでですなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで</td><td>が成の分野(が解説を10時間の がある。20時間の がた上で授業に関 がある。20時間の がある。20時間の で上の野に関 で上のの利達した。 でとの利達した。 ではようの応用問題題 を対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題 対力の応用問題と 対力の応用問題題 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対対の応用問題を 対対の応用問題を 対対のに 対対の応用問題を 対対のに 対対の 対対の</td><td>でできる。 を解くことができる。 し題を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。</td>	一ついて、1年~3年で学んだ内容を記して、直直演習を行います。 京を確認した上で、主に大学偏入学試学習として課題を課します。課題及語で対して課題を10%を認めたる。 事前に課題に取りをでの成績が60点未満のものに対して再合で再評価を行います。 ② ICT 利用 ② ICT NT ICT	復習するとともに、、そ 験に出題された問題の が定期試験の準備のた が定期試験のを表情のた が定期である場合が が定期である場合が は試験を実施する場合が のでである。 のででする。 のでである。 のでである。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のでですな。 のででする。 のででする。 のでですなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで	が成の分野(が解説を10時間の がある。20時間の がた上で授業に関 がある。20時間の がある。20時間の で上の野に関 で上のの利達した。 でとの利達した。 ではようの応用問題題 を対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題 対力の応用問題と 対力の応用問題題 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対対の応用問題を 対対の応用問題を 対対のに 対対の応用問題を 対対のに 対対の 対対の	でできる。 を解くことができる。 し題を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。	
授業の進注意点 授業の 授業計	属性・履 ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	 (を) (を)<td>でついて、1年~3年で学んだ内容を記して、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、事前に課題に取り組定期試験60%、課題など40%をつかが、1000円のである。</td><td>復習するとともに、、そ 験に出題された問題の が定期試験の準備のた が定期試験のを表情のた が定期である場合が が定期である場合が は試験を実施する場合が のでである。 のででする。 のでである。 のでである。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のでですな。 のででする。 のででする。 のでですなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで</td><td>が成の分野(が解説を10時間の がある。20時間の がた上で授業に関 がある。20時間の がある。20時間の で上の野に関 で上のの利達した。 でとの利達した。 ではようの応用問題題 を対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題 対力の応用問題と 対力の応用問題題 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対対の応用問題を 対対の応用問題を 対対のに 対対の応用問題を 対対のに 対対の 対対の</td><td>でできる。 を解くことができる。 し題を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。</td>	でついて、1年~3年で学んだ内容を記して、適宜演習を行います。 を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、事前に課題に取り組定期試験60%、課題など40%をつかが、1000円のである。	復習するとともに、、そ 験に出題された問題の が定期試験の準備のた が定期試験のを表情のた が定期である場合が が定期である場合が は試験を実施する場合が のでである。 のででする。 のでである。 のでである。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のででする。 のでですな。 のででする。 のででする。 のでですなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなでなで	が成の分野(が解説を10時間の がある。20時間の がた上で授業に関 がある。20時間の がある。20時間の で上の野に関 で上のの利達した。 でとの利達した。 ではようの応用問題題 を対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題 対力の応用問題と 対力の応用問題題 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対対の応用問題を 対対の応用問題を 対対のに 対対の応用問題を 対対のに 対対の 対対の	でできる。 を解くことができる。 し題を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。	
注意点 授業の	属性・履 ディブラー: 画 3rdQ 4thQ	 (を) (を)<td>でいて、1年~3年で学んだ内容を記して、直直演習を行います。記を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試を確認したとで、実題を課します。課題及認定期試験60%、課題など40%を記念がある。 「「日本のでは、「日</td><td>復習するとともに, そ</td><td>が成の分野(が解説を10時間の がある。20時間の がた上で授業に関 がある。20時間の がある。20時間の で上の野に関 で上のの利達した。 でとの利達した。 ではようの応用問題題 を対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題 対力の応用問題と 対力の応用問題題 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対対の応用問題を 対対の応用問題を 対対のに 対対の応用問題を 対対のに 対対の 対対の</td><td>でついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 においてできる。 のでできる。 のでできる。 のを解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 しまる。 を解くことができる。 のを解くことができる。 しまる。 を解くことができる。 のは、ことができる。 のは、ことができる。</td>	でいて、1年~3年で学んだ内容を記して、直直演習を行います。記を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試を確認した上で、主に大学偏入学試を確認したとで、実題を課します。課題及認定期試験60%、課題など40%を記念がある。 「「日本のでは、「日	復習するとともに, そ	が成の分野(が解説を10時間の がある。20時間の がた上で授業に関 がある。20時間の がある。20時間の で上の野に関 で上のの利達した。 でとの利達した。 ではようの応用問題題 を対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対分の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題題 対力の応用問題題 対力の応用問題と 対力の応用問題題 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対力の応用問題を 対対の応用問題を 対対の応用問題を 対対のに 対対の応用問題を 対対のに 対対の 対対の	でついて発展的な内容を学習します の自学自習時間が必要です。 においてできる。 のでできる。 のでできる。 のを解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 を解くことができる。 しまる。 を解くことができる。 のを解くことができる。 しまる。 を解くことができる。 のは、ことができる。	